

## 2016年1月24日 年間第3主日

### 第1朗読 ネヘミヤ記 8章2-4a、5-6、8-10節

祭司エズラは律法を会衆の前に持つて来た。

そこには、男も女も、聞いて理解することのできる年齢に達した者は皆いた。第七の月の一日のことであった。

彼は水の門の前にある広場に居並ぶ男女、理解することのできる年齢に達した者に向かって、夜明けから正午までそれを読み上げた。

民は皆、その律法の書に耳を傾けた。

書記官エズラは、このために用意された木の壇の上に立った。エズラは人々より高い所にいたので、皆が見守る中でその書を開いた。

彼が書を開くと民は皆、立ち上がった。

エズラが大いなる神、主をたたえると民は皆、両手を挙げて、「アーメン、アーメン」と唱和し、ひざまずき、顔を地に伏せて、主を礼拝した。

彼らは神の律法の書を翻訳し、意味を明らかにしながら読み上げたので、人々はその朗読を理解した。総督ネヘミヤと、祭司であり書記官であるエズラは、律法の説明に当たったレビ人と共に、民全員に言った。「今日は、あなたたちの神、主にささげられた聖なる日だ。嘆いたり、泣いたりしてはならない。」民は皆、律法の言葉を聞いて泣いていた。

彼らは更に言った。

「行って良い肉を食べ、甘い飲み物を飲みなさい。」

その備えのない者には、それを分け与えてやりなさい。今日は、我らの主にささげられた聖なる日だ。悲しんではならない。主を喜び祝うことこそ、あなたたちの力の源である。」

## 第2朗読

コリントの信徒への手紙一 12章12〜30節

体は一つでも、多くの部分から成り、体のすべての部分の数は多くても、体は一つであるように、キリストの場合も同様である。

つまり、一つの霊によって、わたしたちは、ユダヤ人であろうとギリシア人であろうと、奴隷であろうと自由な身分の者であろうと、皆一つの体となるために洗礼を受け、皆一つの霊をのませてもらったのです。

体は、一つの部分ではなく、多くの部分から成っています。足が、「わたしは手ではないから、体の一部ではない」と言ったところ、体の一部でなくなるでしょうか。耳が、「わたしは目ではないから、体の一部ではない」と言ったところで、体の一部でなくなるでしょうか。

もし体全体が目だったら、どこで聞きますか。もし全体が耳だったら、どこでおいをかぎますか。そこで神は、御自分の望みのままに、体に一つ一つの部分を置かれたのです。すべてが一つの部分になってしまったら、どこに体というものがあるでしょうか。

だから、多くの部分があっても、一つの体なのです。目が手に向か

って「お前は要らない」とは言えず、また、頭が足に向かつて「お前たちは要らない」とも言えません。

それどころか、体の中でほかよりも弱く見える部分が、かえって必要なのです。

わたしたちは、体の中でほかよりも恰好が悪いと思われる部分を覆って、もっと恰好よくしようとし、見苦しい部分をもっと見栄えよくしようします。

見栄えのよい部分には、そうする必要はありません。神は、見劣りのする部分をいつそう引き立たせて、体を組み立てられました。

それで、体に分裂が起こらず、各部分が互いに配慮し合っています。

一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。あなたがたはキリストの体であり、また、一人一人はその部分です。

神は、教会の中にいろいろな人をお立てになりました。第一に使徒、第二に預言者、第三に教師、次に奇跡を行う者、その次に病気をいやす賜物を持つ者、援助する者、管理する者、異言を語る者などです。

皆が使徒であろうか。

皆が預言者であろうか。

皆が教師であろうか。

皆が奇跡を行う者であろうか。

皆が病気をいやす賜物を持っているだろうか。

皆が異言を語るだろうか。

皆がそれを解釈するだろうか。

あなたがたは、もっと大きな賜物を受けるよう熱心に努めなさい。

**福音朗読** ルカによる福音書 一章1〜4節、4章14〜21節

わたしたちの間で実現した事柄について、最初から目撃して御言葉のために働いた人々がわたしたちに伝えたとおりに、

物語を書き連ねようと、多くの人々が既に手を着けています。

そこで、敬愛するテオフィロさま、わたしもすべての事を初めから詳しく調べていますので、順序正しく書いてあなたに献呈するのがよいと思いました。お受けになった教えが確実なものであることを、よく分かっていたきたいのであります。

イエスは“霊”の力に満ちてガリラヤに帰られた。その評判が周りの地方一帯に広まった。イエスは諸会堂で教え、皆から尊敬を受けられた。

イエスはお育ちになったナザレに来て、いつものとおりに安息日に会堂に入り、聖書を朗読しようとしてお立ちになった。預言者イザヤの巻物が渡され、お開きになると、次のように書いてある個所が目にとまった。

「主の霊がわたしの上におられる。  
貧しい人に福音を告げ知らせるために、  
主がわたしに油を注がれたからである。」

主しゆがわたしを遣つかわされたのは、

捕とらわれている人じんに解放かいほうを、

目めの見みえない人じんに視力しりよくの回復かいふくを告つげ、

圧迫あつぱくされている人じんを自由じゆうにし、

主しゆの恵めぐみの年としを告つげるためである。」

イエスは巻物まきものを巻まき、係かかりの者ものに返かえして席せきに座すわられた。会堂かいどうにいる

すべての人じんの目めがイエスに注そそがれていた。

そこでイエスは、「この聖書せいしよの言葉ことばは、今日きょう、あなたがたが耳みみにし

たとき、実現じつげんした」と話はなし始はじめられた。